

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-176423 (P2019-176423A)  
 【公開日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-041  
 【出願番号】特願 2018-65498 (P2018-65498)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N     7/18     (2006.01)  
 G 0 8 B     25/00     (2006.01)  
 G 0 8 B     25/04     (2006.01)  
 G 0 8 B     21/02     (2006.01)  
 G 0 6 T     7/20     (2017.01)

【 F I 】

H 0 4 N     7/18     D  
 G 0 8 B     25/00     5 1 0 M  
 G 0 8 B     25/04     K  
 G 0 8 B     21/02  
 G 0 6 T     7/20     3 0 0 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 3 年 3 月 29 日 (2021.3.29)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

対象物体の状態を示す情報を入力する入力手段と、  
該入力手段で入力した前記対象物体の状態を示す情報に基づき、前記対象物体の検出す  
べき動作を定義するルール情報を取得する取得手段と、  
映像内の前記対象物体の、前記取得手段で取得したルール情報が示す検出すべき動作を  
検出する検出手段と、  
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】  
 前記対象物体は人物であって、前記状態は健康状態を含む  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】  
 前記対象物体は人物或いは機械であって、前記状態は作業の段階である  
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】  
 更に、前記ルール情報を修正する修正手段を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の  
 情報処理装置。

【請求項 5】  
前記修正手段は所定期間経過後に前記ルール情報を修正することを特徴とする請求項 4  
に記載の情報処理装置。

【請求項 6】  
前記修正手段は前記対象物体を撮影する環境に基づいて前記ルール情報を修正すること

を特徴とする請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記ルール情報はテキスト形式で記述されることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記ルール情報を設定する設定手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記対象物体が前記取得手段で取得したルール情報が示す検出すべき動作となった場合に、当該検出すべき状態となったことを示す情報を予め設定された端末に向けて出力する出力手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

患者を同定するための情報を格納する患者データベースを有し、

前記検出手段は、

前記映像内の人物の像から求めた特徴情報と前記患者データベースとに基づき、前記映像内の人物が患者であるとの判定結果に応じて、前記映像内の人物の、前記取得手段で取得したルール情報が示す検出すべき動作の検出を行う

ことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記ルール情報は、危険度の閾値を含み、当該閾値以上の危険度の動作を検出すべき動作と定義することを特徴とする請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記健康状態は病名を含むことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記入力手段は、診療データの解析に基づいて、前記対象物体の状態を示す情報を入力することを特徴とする請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 14】

対象物体の状態を示す情報を入力し、

該入力した前記対象物体の状態を示す情報に基づき、前記対象物体の検出すべき動作を定義するルール情報を取得し、

映像内の前記対象物体の、取得したルール情報が示す検出すべき動作を検出する

ことを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 15】

コンピュータに、請求項 1 乃至 13 の何れか 1 項に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。

【請求項 16】

監視システムであって、

対象物体を撮像するための、少なくとも 1 つの撮像装置と、

情報処理装置とを有し、

前記情報処理装置は、

前記撮像装置が撮像した映像を受信するための通信手段と、

対象物体の状態を示す情報とを入力する入力手段と、

該入力手段で入力した前記対象物体の状態を示す情報に基づき、前記対象物体の検出すべき動作を定義するルール情報を取得する取得手段と、

前記映像内の前記対象物体の、前記取得手段で取得したルール情報が示す検出すべき動作を検出する検出手段とを有する

ことを特徴とする監視システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

この課題を解決するため、例えば本発明の情報処理装置は以下の構成を備える。すなわち、

対象物体の状態を示す情報を入力する入力手段と、

該入力手段で入力した前記対象物体の状態を示す情報に基づき、前記対象物体の検出すべき動作を定義するルール情報を取得する取得手段と、

映像内の前記対象物体の、前記取得手段で取得したルール情報が示す検出すべき動作を検出する検出手段とを有する。